

百日咳(ウーピング・コフ Whooping cough)とは？

百日咳(別名:パートウシス Pertussis)は、細菌によって引き起こされ、空気中で人から人へと広がります。徴候には以下が見られます:



咳の発作



嘔吐



呼吸困難

どのような人が重症化しやすいですか？

百日咳の重症化は、赤ちゃんに多くみられます。咳をする赤ちゃんもいれば、咳をしないで呼吸が苦しくなる赤ちゃんもいます。

百日咳にかかると、入院が必要になることがあります。肺炎や脳障害を引き起こす可能性があります。最悪の場合、死に至ることもあります。



自分や他の人を守るためにどうすればいいのでしょうか？

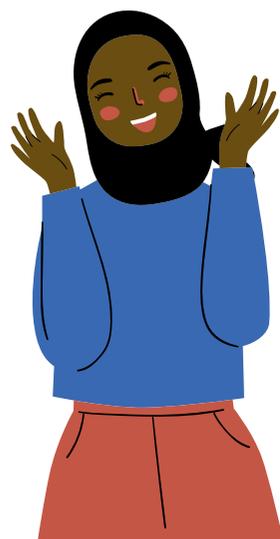
すべての年齢の人がワクチン接種を受けることで、自分自身と他の人と守ることができます。



赤ちゃんと幼児

DTaP

2、4、6カ月、15～18カ月、4～6歳で接種



プレティーン

Tdap

11～12歳で接種



妊娠中の人

Tdap

妊娠第3期に接種



19歳以上の成人

Tdap

未接種の人はいつでも接種が可能

ワクチン接種はお腹の中の赤ちゃんを どのように守るのでしょうか？



ワクチン接種を受けると、体内で作られた抗体が赤ちゃんにも移行します。この抗体は、生後数カ月の間、赤ちゃんを守ります。

妊娠している場合は、妊娠第3期の早い段階でワクチン接種を受けましょう。咳で具合が悪いときは、赤ちゃんや妊娠中の人への訪問は避けましょう。

詳しい情報はどこで確認 できますか？

ワクチン接種について医師に相談しましょう。
医師をお探しですか？ Community Health
Access Program にご連絡ください。
電話番号は 1-800-756-5437、Eメールは
CHAP@kingcounty.gov です。

百日咳についての詳細は、
こちらをご覧ください：
bit.ly/kcpertussis

